

交流ツーリズム実践論

授業科目名	交流ツーリズム実践論	単位数 2 単位
英語標記	Practical planning for tourism	
授業コード	360407	
受講人数	15 人	
担当教員	森栗 茂一	
対象	全研究科大学院生、一部学部生、社会人（5 名程度）	
開講時間等	第 1 学期	
開講場所	主に学外	
キーワード	遍路、巡礼街道、宿坊、語り合い、助け合い、リスクマネジメント	
授業の目的	お遍路交流と徒歩交通、公共交通活用の交流型観光 に関する基礎知識とコミュニケーションを体験し、その意味を議論する。 【到達目標】 交流空間の体感のなかで、コミュニケーション能力の向上をめざす。	
講義内容	[4/11] 1-3 ・集合場所・時間 午前 10:00 中之島センター ・内容 遍路ツーリズムの現状と議論 どうしても 11 日が出席できない者は連絡の上、12 日午後と 19 日午後、研究室に来て課題を出し、個別指導を受ける。 [9/18, 9/19, 9/20] 4-12 ・集合場所・時間 昼 12 : 35 高知県高知市はりまや橋上（予定） ・内容 高知市内（龍馬関連地も含む）、土佐市内を予定。 【6 時に豪雨雷雨注意報警報の場合 5/3-4 とする】【行き方は各自調べる。神戸のターミナルはわかりにくい。事前に、乗り場インフォ三宮 http://sannomiya.noriba.info/ などで乗り場を確かめておき、早めに行く。大阪から乗っても良い。連休中であり、帰りは 17 時頃で予約を入れておく。早めに学割往復予約することをお勧めする。】【6 時時点で豪雨雷雨警報・注意報のない場合は雨天決行であるが、博物館見学等にも変わることもある】 [9/25] 13-14 ・集合場所・時間 午後 6:30 京阪なにお橋駅 B1 アートエリア B1 ・内容 なにお橋駅で、お遍路カフェを行い、議論する。 [12/18] 15-16 ・集合時間・場所 午前 10:00 中之島センター ・内容 学部生はウェブコンテンツの指導を受けて構築し 12/18 中之島センターで発表、院生は受講）以上の順で講義をすすめる予定。状況により変更もありえる。	
教科書	特になし	
参考書	ブログ：森栗茂一のコミュニティ・コミュニケーション 砂の器（監督野村芳太郎） 中山和久『巡礼・遍路がわかる事典』日本実業出版、1575 円	
成績評価	体験したことを議論し、それを評価する 100%。	
履修条件・受講条件	全研究科大学院生（社会人 2 名程度）、全学部生 学部生は、運営の支援を行い、コミュニケーションの成果を 12 月発表会で発表する 現地に行き、観察体験を前提としている。2 泊 3 日の遍路体験に必要な旅費等は個人負担であ	

る。学研災など保険は受講義務である。

宗教施設を巡り、宿坊滞在するが、礼拝等を強要しない。文化システムとしての巡礼の実態体験から、自由に学んでもらうことを期待している。

その他	社会人の受講を歓迎する。 体力のない方はそれなりに、お互い助け合い歩きましょう。弱い人に合わせて歩く。疲れたらバスを使っても OK です。体の都合でクルマが必要な方も歓迎です。花咲く巡礼道を、語り合いながら歩きます。朝の勤行は楽しい。
-----	--